

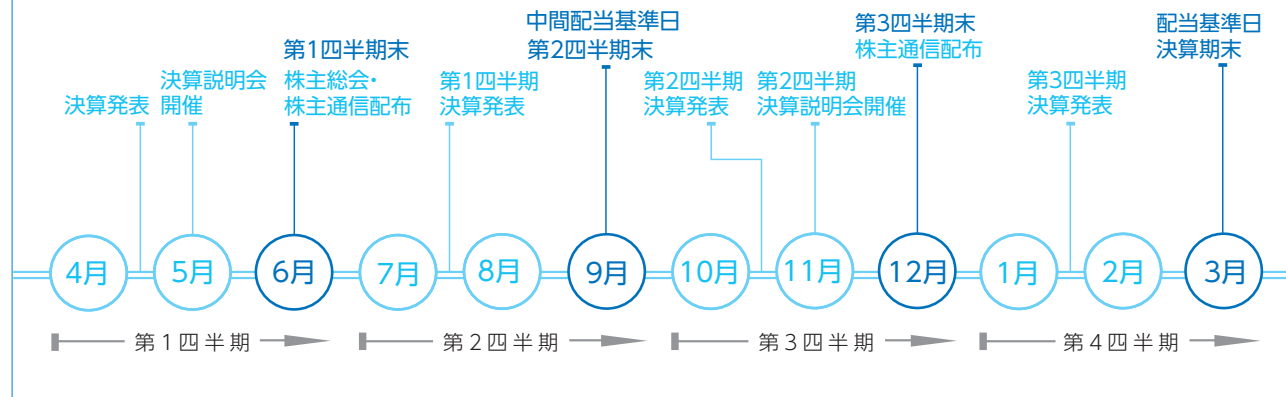
## 当社ホームページのご紹介

当社では、IR専用のホームページを設けて、決算情報等のIR関連の情報をタイムリーに配信しております。  
また、株主・投資家の皆さま専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。

トップページのアドレスはこちらです。

<https://www.nicho.co.jp/>

### ● IRカレンダー



## 2019年3月期 中間株主通信

2018年4月1日

2018年9月30日





株主の皆さまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社2019年3月期上半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)における営業並びに決算の概況と今後の戦略につきましてご報告申し上げます。

初めに、今回、中間株主通信をお届けするにあたり、あらためまして上半期における度重なる自然災害により被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

さて、本年4月に行われました薬価及び調剤報酬改定は大変厳しい内容であり当上半期の業績に影響を与えましたが、一方で、健康サポート機能強化を目的とした未病・予防の取り組みなど、調剤薬局における医療サービスの質の向上を強く求めるものでもありました。このような状況を踏まえ当社では、薬剤師・薬局に求められる多様な機能の実現に向けた人材投資などを積極的にを行い、増大する医療ニーズに従来にも増してグループ丸となって応えてまいります。今後とも当社に対するご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 三津原 博

### 経営成績に関する報告(2019年3月期 上半期決算報告)

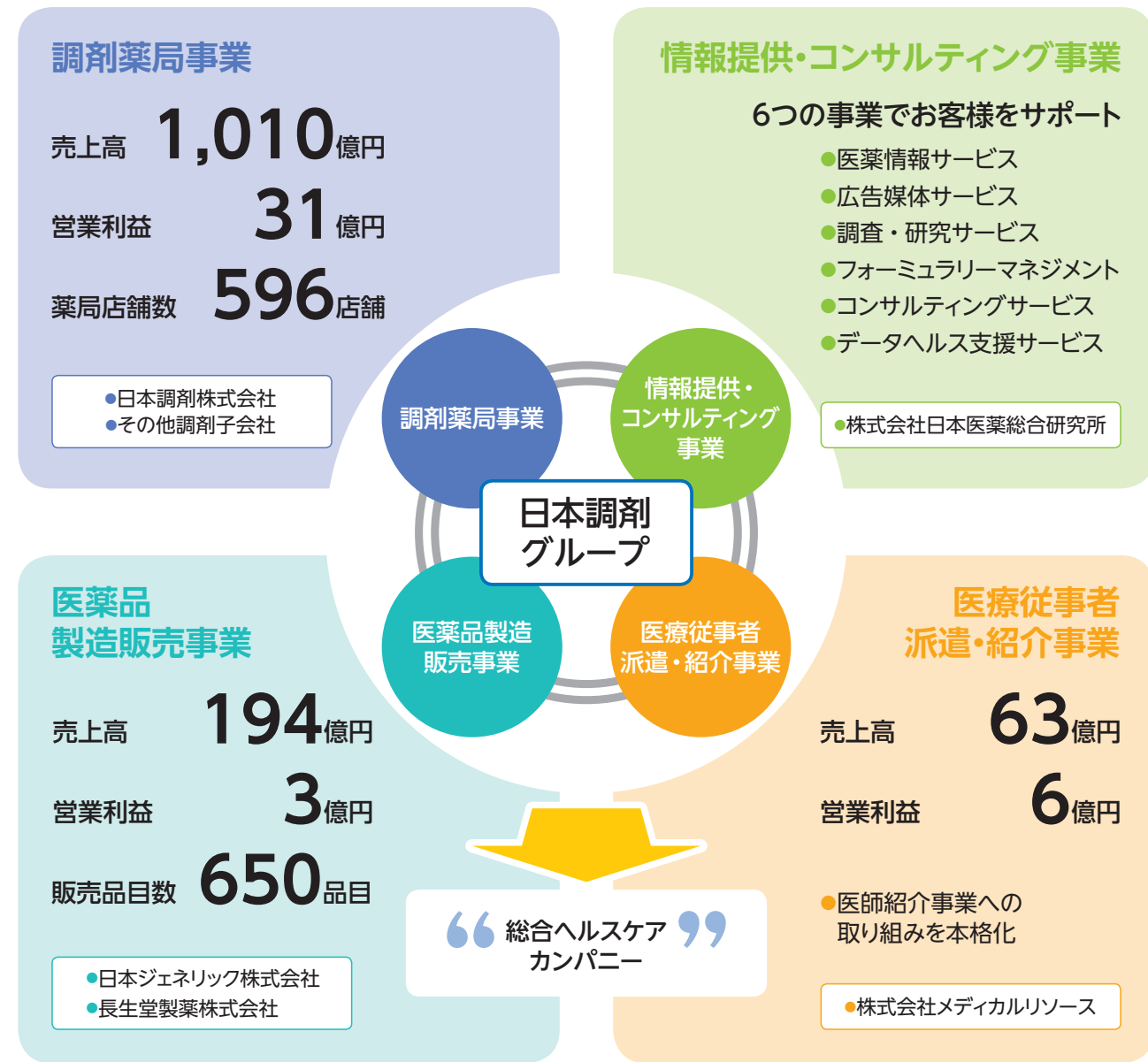
2019年3月期上半期の業績については、3つの主要なポイントがあります。

一つ目は売上高。4月から実施された薬価及び調剤報酬の非常に厳しい改定内容と、7月から9月にかけての自然災害による特殊要因がありながらも、全ての事業セグメントで前年同期比増収を果たすことができました。

二つ目は営業利益。改定による影響に加え、各事業セグメントにおける業容拡大に向けた積極的な先行投資による費用増加の影響などにより、前年同期比大きな減益とはなりましたが、減益要素は期初段階で想定したものであり、実績は概ね期初計画に沿って進捗しました。

三つ目は、これが非常に大きな成果ですが、医薬品製造販売事業の上期の営業利益は、期初計画段階で営業損失を見込んでおりましたが、新工場完成に伴う減価償却費などの費用増加を吸収して営業利益を計上し、2020年3月期以降の業績V字回復に向けた大きな手応えをつかむことができました。

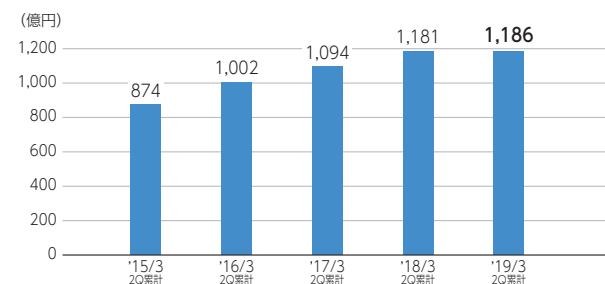
具体的な数値については、売上高118,694百万円(前年同期比0.5%増)、営業利益1,547百万円(同68.4%減)、経常利益1,265百万円(同72.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益744百万円(同73.4%減)となりました。事業セグメント別の業績概況は次ページにお示ししております。



※売上高、営業利益につきましては、単位未満を切り捨てて記載しております。

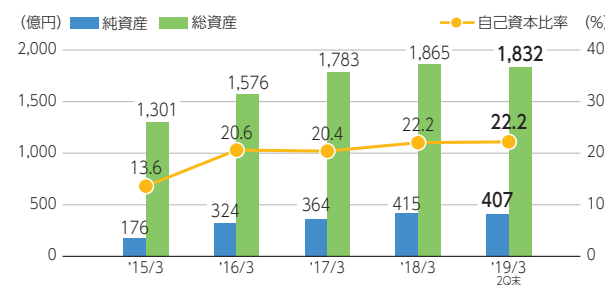
売上高

薬価並びに調剤報酬の改定年度ながら、全ての事業セグメントにおいて前年同期比増収を確保。調剤薬局事業では、処方箋単価の低下により既存店はわずかながら減収となったものの、前年出店店舗及び当期の新規出店店舗を中心に処方箋枚数を着実に増加させ、7月～9月の自然災害の影響はありながらも、同事業として前年同期比1.0%の増収を確保。医薬品製造販売事業では同1.1%、医療従事者派遣・紹介事業では同6.0%の増収をそれぞれ達成。



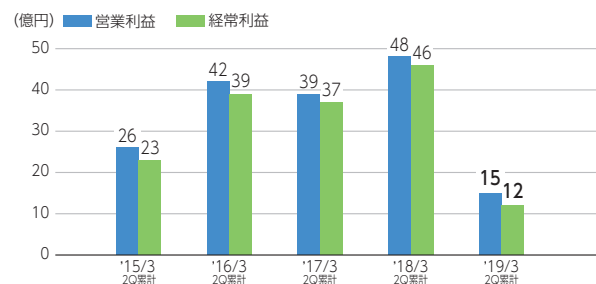
総資産、純資産及び自己資本比率

総資産は、医薬品製造販売事業の設備投資がピークアウトしたことなどに伴い、有利子負債の削減が進んだことなどを主な要因として前期末比3,280百万円減少。純資産は、8月から実施している自己株式の取得に伴い725百万円の減少。その結果、自己資本比率は前期末と変わらず22.2%。



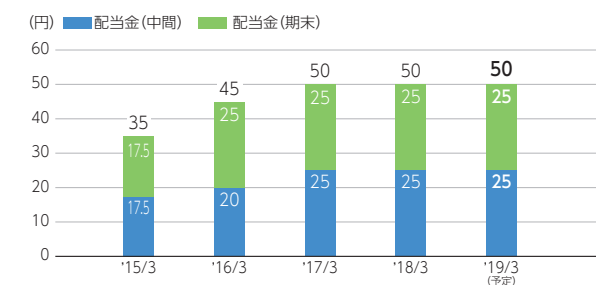
営業利益及び経常利益

薬価引き下げと調剤報酬改定の影響、各事業セグメントにおける積極的な先行投資による費用増加に加えて7月～9月の自然災害による売上高への影響もあり、営業利益及び経常利益ともに大きく減益。なお、医薬品製造販売事業については、適正な販売価格の維持と各種費用の抑制などが奏功し期初計画を大きく超過。2020年3月期以降の業績V字回復に向けて大きな手応えを感じる実績を実現。



1株当たり配当金

中間配当は25円を実施。期末配当は25円を予定し、年間配当としては計50円を予定。また当社では自己株式の取得を実施(取得株式総数328,900株、取得総額1,104,171,000円、期間:8/1から9/30)。従来同様に安定性・継続性を重視した配当に加え、機動的な資本政策の実施に努めてまいります。



連結財務諸表

連結損益計算書

	2018/3 2Q実績	2019/3 2Q実績	前期 (ご参考)
売上高	118,149	118,694	241,274
売上原価	96,648	99,267	197,437
売上総利益	21,500	19,427	43,837
対売上比(%)	18.2%	16.4%	18.2%
販売費及び一般管理費	16,611	17,880	33,250
対売上比(%)	14.1%	15.1%	13.8%
営業利益	4,888	1,547	10,587
対売上比(%)	4.1%	1.3%	4.4%
経常利益	4,635	1,265	10,138
対売上比(%)	3.9%	1.1%	4.2%
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,805	744	6,104
対売上比(%)	2.4%	0.6%	2.5%
1株あたり四半期(当期)純利益(円)	175.42	46.77	381.69

連結キャッシュ・フロー計算書

	2018/3 2Q	2019/3 2Q	前期 (ご参考)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,367	3,936	23,141
税金等調整前四半期(当期)純利益	4,885	1,417	10,045
減価償却費	2,463	2,968	5,214
のれん償却額	646	718	1,326
売上債権の増減額(△は増加)	387	2,187	6,691
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,697	△5,994	1,442
仕入債務の増減額(△は減少)	4,517	4,774	△1,399
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,299	△3,535	△13,843
有形固定資産の取得による支出	△4,527	△3,074	△12,076
事業譲受による支出	△126	△314	△585
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△948	△761	△1,126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,024	△5,550	△2,034
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,044	△5,149	7,264
現金及び現金同等物の期首残高	21,200	28,464	21,200
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	26,244	23,315	28,464

連結貸借対照表

	2018/3 期末	2019/3 2Q末
流動資産	81,613	79,717
固定資産	104,956	103,572
有形固定資産	75,662	73,538
無形固定資産	17,952	18,155
投資その他の資産	11,341	11,879
資産合計	186,569	183,289
流動負債	70,310	73,798
固定負債	74,752	68,710
負債合計	145,062	142,508
純資産合計	41,506	40,781
自己資本	41,504	40,780
自己資本比率	22.2%	22.2%

(単位:百万円)

現金及び現金同等物の当上半期末残高は、前期末比5,149百万円減少し23,315百万円となりました。営業活動CFの主な収入項目は、仕入債務の増加額4,774百万円、主な支出項目は、たな卸資産の増加額5,994百万円です。投資活動CFの主な支出項目は、新規出店や生産設備の更新などによる有形固定資産の取得による支出3,074百万円です。財務活動CFは、医薬品製造販売事業における設備投資がピークアウトしたことなどに伴い借入金の返済が進んだことにより、5,550百万円の支出超過となりました。

「健康サポート薬局」  
に適合

3/27 日本調剤 わらび薬局



3/30 日本調剤 中の島薬局



5/16 日本調剤 軽米薬局



7/5 日本調剤 谷津薬局



7/31 日本調剤 桜馬場薬局



8/10 日本調剤 ユーカリ薬局



8/24 日本調剤 六甲アイランド薬局



## 日本調剤 グループニュース

2018年4月1日～2018年9月30日

2018

4月

5月

6月

7月

8月

9月

6/1 日本ジェネリックの「つくば研究所」を移転し、運営を開始 P.10参照

7/18 日本医薬総合研究所がシンポジウムを開催 P.9参照

8月 「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に継続して選定 P.12参照

9/9 現場での取り組みや成果を発表する「第3回日本調剤グループ学術大会全国大会」を開催 P.9参照

4/1 前年を大きく上回る社員が入社  
新人集合研修を実施

4月に前年を大きく上回る新入社員を日本調剤グループの仲間として迎えることができました。約1カ月に亘り、当社のつくば研修所を拠点として研修が実施され、顧客対応の基本マナーや職種に応じた業務知識の習得などを行い、5月からはそれぞれの配属先で勤務を開始しました。



つくば研修所 ロールプレイ研修

4/7-8 妊婦さん&新米ママさんを応援する日本最大級のイベント「マタニティ&ベビーフェスタ2018」に出展

同イベントは、妊婦ママ・産後ママ&パパとその家族を応援するための情報発信基地となっており、2日間で3万人弱の来場者がありました。日本調剤の出店ブースでは、「お薬講座」を2日間で計8回開催し、赤ちゃんへのお薬の飲ませ方などを具体的にお伝えしました。毎回、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。



出店ブース 薬剤師による説明

6/1 倉敷中央病院内にセルフメディケーションを推進するヘルスケアショップ「NICH0+くらしき」オープン

「NICH0+」は主に一般用医薬品(OTC医薬品)やヘルスケア商品を中心に揃える日本調剤のブランドショップです。6月1日、岡山県倉敷市の倉敷中央病院内に第2号店をオープンしました。医療機関との新しい連携の形を作るもので、調剤以外の分野で地域医療を支えようとの新たな試みです。



倉敷中央病院内 NICH0+くらしきオープン

7月 豪雨被災地への支援活動  
熱中症予防に効果のある経口補水液を支援物資として愛媛県、岡山県の被災地へ提供

7月に西日本を中心に襲った記録的な豪雨による被災地の皆さまへの支援活動を行いました。連日の猛暑の中、被災された皆さま、復旧関係者やボランティアの皆さまの健康保持を考えて、熱中症予防に効果がある経口補水液「OS-1」を支援物資としてお届けしました。



豪雨被災地への支援活動

7/28 日本調剤の各店舗で子どもたちを対象とした「薬剤師体験イベント」を開催

学校の夏休み期間の取り組みとして、子どもたちを対象にした「薬剤師体験イベント」を日本調剤の各店舗で開催しました。地域の皆さまに一人でも多く、調剤薬局を、そして日本調剤を知っていただけるように、これからも様々な取り組みにチャレンジします。



薬剤師体験イベント

8/20 アジア太平洋薬学生シンポジウムで薬学生の国際交流をサポート

8月18日から7日間、薬学生の国際交流の場である「第17回アジア太平洋薬学生シンポジウム」が山梨県富士吉田市で開催されました。今回のシンポジウムには、韓国、台湾、タイ、マレーシア、インドネシアなどアジア地域各国の薬学生に日本国内の薬学生を加え約500名の参加がありました。当社は同シンポジウムの運営やワークショップの開催などを全面的にサポートしました。



シンポジウム 当社社員による講義

## 地域住民の皆さまの健康をサポート



藤沢薬局 健康チェックステーション

### 健康チェックステーションを積極的に展開

「健康チェックステーション」とは、日本調剤の薬局店舗内に併設された、健康相談や自身の健康度測定ができる専用スペースです。この「健康チェックステーション」は、特に体調に問題がなくても、処方箋を持っていないくても、健康に関心のある方はどなたでもお気軽にご利用いただけます。ぜひ、「健康チェックステーション」を上手に活用して、ご自身の健康管理に役立ててみてください。



体組成測定

### 「健康チェックステーション」設置店舗一覧

<b>北海道</b>	<b>東京都</b>	<b>静岡県</b>
●日本調剤 中の島薬局(札幌市)	●日本調剤 麻布十番薬局(港区)	●日本調剤 追手町薬局(静岡市)
●日本調剤 釧路薬局(釧路市)	●日本調剤 銀座泰明薬局(中央区)	<b>愛知県</b>
<b>岩手県</b>	●日本調剤 駿河台薬局(千代田区)	●日本調剤 山手通薬局(名古屋市中)
●日本調剤 葛巻薬局(岩手郡)	●日本調剤 梅屋敷薬局(大田区)	●日本調剤 中川薬局(名古屋市中)
<b>宮城県</b>	●日本調剤 すみれ中央薬局(世田谷区)	<b>三重県</b>
●日本調剤 台原薬局(仙台市)	●日本調剤 石神井公園薬局(練馬区)	●日本調剤 亀山薬局(亀山市)
●日本調剤 木町通薬局(仙台市)	●日本調剤 南阿佐ヶ谷薬局(杉並区)	<b>石川県</b>
<b>埼玉県</b>	●日本調剤 竹ノ塚薬局(足立区)	●日本調剤 小丸山薬局(七尾市)
●日本調剤 わらび薬局(蕨市)	●日本調剤 立石駅前薬局(葛飾区)	●日本調剤 ワイプラザ薬局(輪島市)
●日本調剤 浦和中央薬局(さいたま市)	●日本調剤 ときわ台薬局(板橋区)	<b>広島県</b>
<b>千葉県</b>	●日本調剤 三鷹台薬局(三鷹市)	●日本調剤 安佐北薬局(広島市)
●日本調剤 谷津薬局(習志野市)	●日本調剤 国分寺薬局(国分寺市)	<b>島根県</b>
●日本調剤 ユーカリ薬局(佐倉市)	●日本調剤 調布薬局(調布市)	●日本調剤 松江薬局(松江市)
●日本調剤 旭病院前薬局(旭市)	●日本調剤 新町田薬局(町田市)	<b>愛媛県</b>
●日本調剤 浦安薬局(浦安市)	●日本調剤 立川曙町薬局(立川市)	●日本調剤 平和通薬局(松山市)
	●日本調剤 八王子薬局(八王子市)	<b>福岡県</b>
	<b>神奈川県</b>	●日本調剤 高取薬局(福岡市)
	●日本調剤 藤沢薬局(藤沢市)	<b>長崎県</b>
	●日本調剤 星川薬局(横浜市)	●日本調剤 桜馬場薬局(長崎市)
	●日本調剤 鶴屋町薬局(横浜市)	<b>宮崎県</b>
	●日本調剤 網島西薬局(横浜市)	●日本調剤 高千穂通薬局(宮崎市)
	●日本調剤 宮崎台薬局(川崎市)	
	●日本調剤 川崎駅前薬局(川崎市)	
	●NICO+くらしき(倉敷市)	

詳しくはホームページをご参照ください。  
<https://www.nicho.co.jp/topics/detail/16500/>

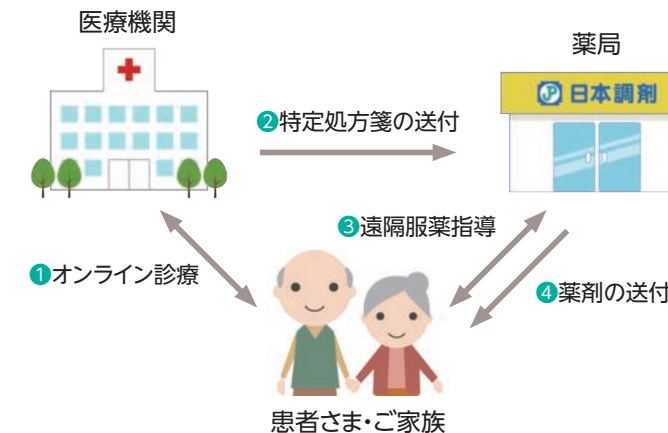
※2018年10月末時点

17/3実績	18/3実績	中長期計画
先行店舗を選定し設置 <b>3店舗</b>	各エリア2~3店舗展開 <b>37店舗</b>	地域の特性・ニーズを把握しさらに展開 <b>100~150店舗</b>

※健康チェックステーションは、日本調剤の登録商標です。

## 遠隔服薬指導に参入

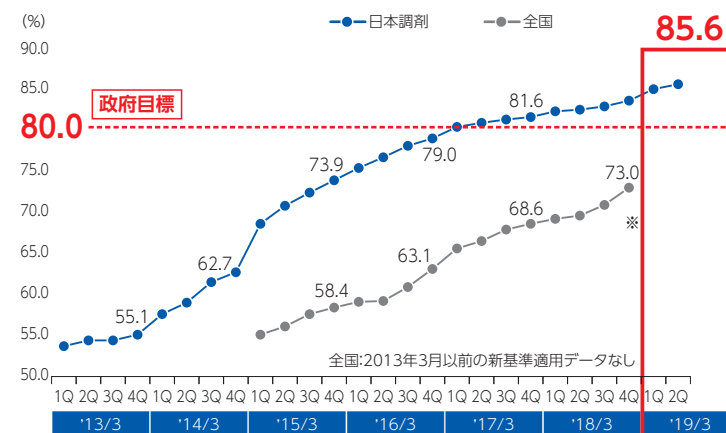
8月13日付で、福岡市内の計4薬局が「福岡市国家戦略特別区域法を活用した遠隔服薬指導事業」の事業登録者としての認可を受けました。これにより、日本調剤では国家戦略特区(福岡市)において、一定の要件を満たした患者さまに対して遠隔服薬指導を実施することが可能となりました。日本調剤では、本取り組みを通じて地域医療への貢献を図るとともに、患者さまのさらなる利便性向上につなげることで、これからも良質な医療サービスを提供してまいります。



### ジェネリック医薬品使用促進による医療費削減額(18年3月期 年間)

237億円

### 日本調剤「ジェネリック医薬品 数量ベース使用割合」の推移



※厚生労働省 調剤医療費の動向 後発医薬品割合 数量ベース(新指標)

## 医療費の増加抑制に貢献

ジェネリック医薬品 数量ベース使用割合 85%を突破

日本調剤では、患者さまの自己負担軽減につながるジェネリック医薬品の普及に積極的に取り組んでいます。患者さまが先発医薬品からジェネリック医薬品へと変更した差額を試算すると年間約237億円(2017年度)の医療費削減効果が出ています。こうした積極的なジェネリック医薬品の使用促進により、日本調剤では、政府が目標とする使用割合80%(2020年9月まで)をすでに超えており、2018年9月末では85%を突破しました(全薬局店舗平均)。現状に満足することなく、さらなる医療費の増加抑制と患者さまの自己負担軽減に向けてジェネリック医薬品の使用促進に、引き続き強力に取り組んでまいります。

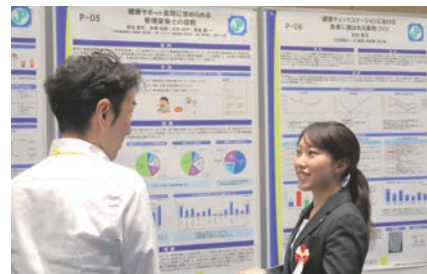
## 質の高い医療サービスを目指して

### 日本調剤グループ学術大会を開催

9月9日、ベルサール東京日本橋(東京都中央区)において、薬局現場での優秀な取り組み事例を発表する「第3回日本調剤グループ学術大会 全国大会」を開催しました。また、隣接する会場では、店舗での患者さま対応をステージ上で再現する「第2回ロールプレイ大賞本選」を実施しました。本大会には、社内・社外合わせて約500名が参加しました。一般講演では、事前に行われた全国9ブロックの地区大会から選出された、優秀な演題全10題が発表されました。

また、ポスター発表のブースでは、昨年度の4演題から大きく数を増やし、17演題を掲示。より多くの優秀な取り組みが共有されました。

学術大会での高度な取り組み事例、ロールプレイ大賞での高いレベルの患者さま対応、さらには、ポスター掲示での各種取り組み好事例などが社内でも共有されるとともに、質の高い医療サービスの提供に向けた日本調剤の取り組み状況を、外部の皆さまに知っていただく良い機会となりました。



ポスター発表



学術大会・ロールプレイ大賞 合同表彰式

## 情報提供・コンサルティング

## 日本医薬総合研究所がシンポジウムを開催

日本調剤グループである日本医薬総合研究所は、7月18日、東京国際フォーラム(東京都千代田区)においてシンポジウムを開催しました。第3回目となる今回は、「新たな医療環境を生き抜く」と題し、処方箋データを活用した解析事例を中心に、医療環境変化に対応する処方箋データの活用方法と、薬局を用いた疾病予防への新たな取り組みについてご紹介しました。



東京国際フォーラム シンポジウム会場

### 日本医薬総合研究所シンポジウム 2018

新たな医療環境を生き抜く  
—処方箋データ解析事例と疾患予防への  
新たな取り組み—

#### 【演題】

1. 株式会社日本医薬総合研究所 情報サービスのご紹介
2. 処方箋データとNDBを用いた 処方動向調査
3. 地域包括ケアにフォーミュラーは 有用か?
4. 気象関連性疼痛の疫学と治療戦略

## ジェネリック医薬品の販売品目数が増加

日本ジェネリック、長生堂製薬では、6月にジェネリック医薬品7成分13品目の販売を開始しました。9月末現在の販売品目数は、650品目となります。

ジェネリック医薬品のご利用は、患者さまの自己負担額の軽減となるだけでなく、日本の医療費の増加抑制につながります。処方箋受付の際に希望を伝えることでご利用いただけます。是非、ジェネリック医薬品のご利用をご検討ください。

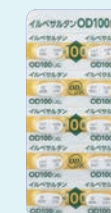
### 医療費削減効果

#### 例

ジェネリック医薬品であるオルメサルタンOD錠40mg(血圧を下げる薬)を1年間服用した場合の医療費削減額は、年間36,244.5円になります。10年間服用されると約36万円の医療費削減効果になります。また、患者さま個人の自己負担額は、お持ちの保険証の負担割合により、上記金額の1割から3割軽減されることとなります。

### 6月発売の新製品

- ラモトリギン錠 25mg[JG] / 100mg[JG]
- ナルフラフィン塩酸塩カプセル 2.5 $\mu$ g [BMD]
- イルベサルタン OD錠 50mg[JG] / 100mg[JG] / 200mg[JG]
- ミノドロン酸錠 1mg[JG] / 50mg[JG]
- メトトレキサート錠 2mg[ダイト]
- ペボタスチンベシル酸塩錠 5mg[JG] / 10mg[JG]
- イルアミクス配合錠 LD[JG] / HD[JG]



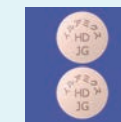
イルベサルタン OD錠100mg



イルベサルタン OD錠100mg 両面印字



イルアミクス 配合錠HD



イルアミクス 配合錠HD 両面印字

## つくば研究所が移転



筑波北部工業団地内に移転した「新つくば研究所」



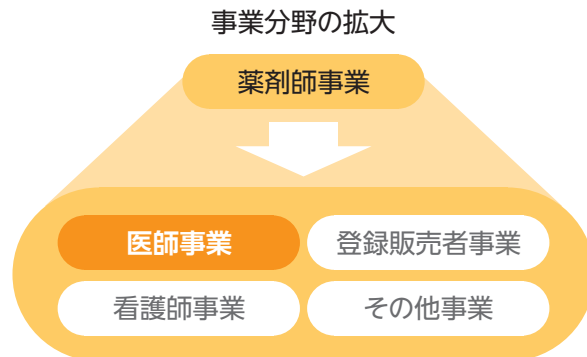
2018年3月に完成した「つくば第二工場」

日本ジェネリックでは、茨城県つくば市観音台にあった「つくば研究所」をつくば工場、つくば第二工場と同じ筑波北部工業団地内に移転し、6

月1日より運営を開始しました。事業拡大に伴って分散していた2部門(分析研究部、製剤研究部)を1か所に集約し、生産部門とも近い効率的な研究開発拠点としてスタートしました。

## 事業分野の拡大

医療従事者の派遣・紹介を行うメディカルリソースでは設立当初より、薬剤師の派遣・紹介事業に取り組んでまいりました。薬剤師の派遣・紹介事業は順調に拡大しておりますが、さらなる事業分野拡大のため、医師事業への本格的な取り組みを開始し、その成果が徐々に出てきています。薬剤師数と同様に医師数は地域差が大きく、依然として首都圏など大都市圏を除く地域では医師不足が深刻な状況です。メディカルリソースでは今後、医師事業の拡大を図り、医師不足が深刻な地域への医師紹介を通じて地域医療へ貢献してまいります。

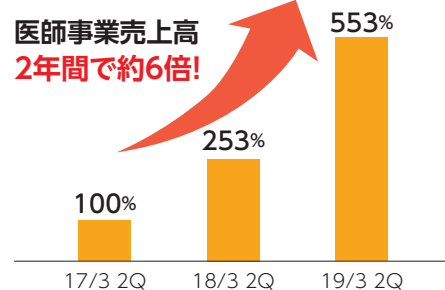


## 営業拠点を4か所追加、 営業社員を倍増

医師事業拡大に向けて、営業拠点を札幌、名古屋、大阪、福岡に追加。医師事業専門の営業社員を倍増し、さらなる事業拡大を目指してまいります。医師事業拡大に向けた先行投資として、広告宣伝費などの費用が一時的に増えますが、売上高増加により吸収できるよう取り組みを積極化させてまいります。



17/3 2Qの売上高を100%とした売上高の推移



2017年4月より、医師事業への取り組みを本格化しており、広告宣伝費を増加するなど先行投資を実施。2018年3月期第2四半期の売上高は、前年同期比約2倍に拡大。2019年3月期第2四半期にはさらに、営業拠点の追加、営業社員を倍増するなど取り組みを強化したことにより、売上高を約6倍に拡大。今後も、事業拡大に向けた取り組みを、さらに進めてまいります。

# TOPICS



## 女性活躍「えるぼし認定」最高位を取得!

6月14日付で、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく優良企業として当社が認定され、通称「えるぼし認定」の最高位である3段階目を取得いたしました。日本調剤では、職員の6割以上が女性であり、女性活躍に向けた取り組みを継続しています。今後も、女性が活躍できる職場作りに従来にも増して積極的に取り組んでまいります。



医療事務リーダーシップ研修

## 「DBJ健康経営格付(2017年度)」を取得

3つの取り組みが評価され、「DBJ健康経営格付」を取得しました。

- 1 様々な薬剤師教育制度の導入を通じて、働きがいのある職場環境を形成している
- 2 生体認証システムを勤務管理にも活用して労働時間の適正化を図っている
- 3 「健康チェックステーション」などの普及拡大を進め、地域や顧客の健康増進に貢献している



※「DBJ健康経営格付」とは、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みが優れた企業を評価・選出し、その評価に応じて融資条件を設定するというものです。

## 「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に 継続選定

2016年、2017年に引き続き、株式会社東京証券取引所及び株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「JPX日経中小型株指数」の構成銘柄に選定されました。



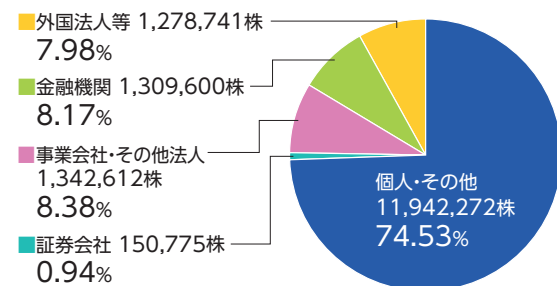
## 会社概要

商号 日本調剤株式会社  
 設立 1980年3月  
 本社所在地 〒100-6737  
 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
 グラントウキョウノースタワー37階  
 03-6810-0800 (代表)  
 資本金 39億5,302万円  
 連結売上高 2,412億円 (2018年3月期)  
 従業員数 正社員 3,103名 パート他 738名  
 ※パート他は8時間換算に基づく年間平均雇用  
 人数であります。(2018年3月末)  
 事業形態 保険調剤薬局チェーンの経営

## 株式状況

発行可能株式総数 44,192,000株  
 発行済株式の総数 16,024,000株  
 株主数 7,303名

### 所有者別株式分布状況



(注)1. 当社所有の自己株式358,908株は、個人・その他に含めております。  
 2. 比率については、小数点第3位を四捨五入しております。

## 役員

代表取締役社長 三津原 博  
 専務取締役 三津原庸介  
 常務取締役 鎌田 良樹  
 常務取締役 深井 克彦  
 常務取締役 笠井 直人  
 取締役 宮田 徳昭  
 取締役 鈴木 重夫  
 取締役 小柳 利幸  
 取締役 小城 和紀  
 取締役 藤本 佳久  
 取締役 恩地 祥光

取締役\* 畠山 信之  
 取締役\* 薄金 孝太郎  
 取締役\* 長嶋 隆

(注)1. 取締役の恩地 祥光、薄金 孝太郎、  
 長嶋 隆は社外取締役であります。  
 2. ※は監査等委員であります。

## 大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
三津原博	4,680,000	29.88
三津原庸介	3,320,000	21.19
有限会社マックスプランニング	1,120,000	7.15
日本調剤 従業員持株会	443,000	2.83
三津原陽子	400,000	2.55
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	294,600	1.88
三津原恵子	269,300	1.72
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	211,100	1.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	179,200	1.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	135,000	0.86

(注)1. 出資比率は、自己株式358,908株を控除して計算しております。  
 2. 出資比率については、小数点第3位以下を切り捨てしております。

## 株主メモ

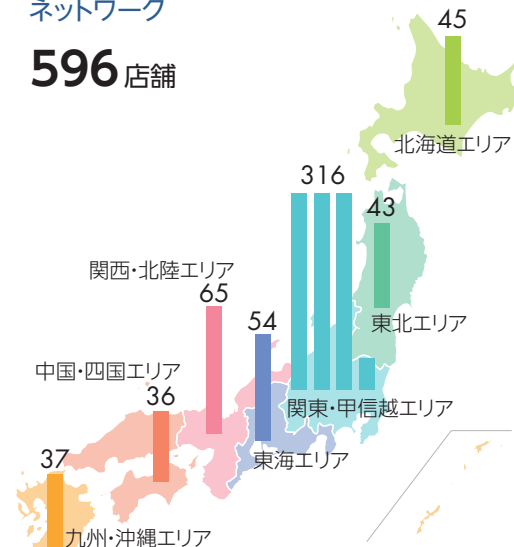
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日  
 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日  
 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日  
 定時株主総会 毎年6月  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の管理機関  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 証券代行部  
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
 公告の方法 電子公告 公告掲載URL  
<https://www.nicho.co.jp/>  
 ただし、電子公告によることができない事  
 故、その他のやむを得ない事由が生じた  
 ときは、日本経済新聞に公告します。

### (ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、  
 口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
 口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿  
 管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱  
 UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の管理  
 機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀  
 行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいた  
 します。

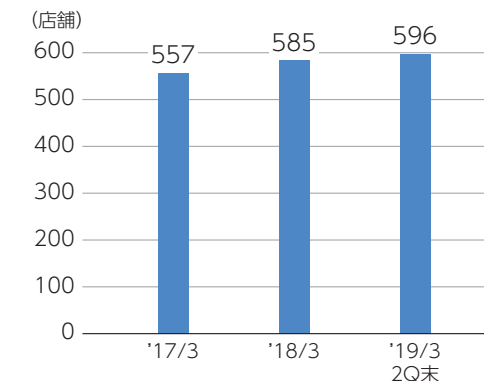
## ネットワーク

596 店舗



※物販店舗の3店舗を含めております。

### 調剤薬局店舗数の推移



※物販店舗の3店舗を含めております。